

2024年 6月12日(水) 5校時

情緒固定学級 6組 名

場所 ときわ教室⑤⑥

指導者 酒井 茜 (T1) 増田 大地 (T2) 島田 佳保里 (T3) 伊藤 治奈 (T4)

1 単元名 「話の聞き方」

2 単元の目標

- ・聞き手の姿勢や態度が大切であることに気付き、上手な聞き方のスキルを身に付けることができる。
- ・全体で振り返りをする中で、自分の聞き方の特徴に気付くと共に、学んだことの気付きやスキルを、これからの生活に生かすことができる。

3 本時の目標

- ・上手な話の聞き方（・相手を見る・相づちをうつ・最後まで聞く・質問する）を理解することができる。

4 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ■評価(評価方法)
導入	1 前時の復習をする。	
	2 本時の流れを知る。	
展開	3 教師の劇を見て、今日のめあてを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・スリーヒントクイズのルールを確認する。 ・教員の劇の中で、話の聞き方の中で、何が不適切であったのかを考えさせる。 ・教員の劇を通して、最後まで話を聞く必要性を考えさせる。
	4 自分のめあてを考える。	
	めあて： 上手な話の聞き方（最後まで話を聞く）を身につけよう！	
展開	5 スリーヒントクイズをする。 ①教員が問題を出す。 （問題は、2回言う。） ②質問があるときは、手を挙げる。 ③チームで相談する。 ④答えをホワイトボードに書いてから答える。 ⑤一斉に答えを見せる。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに場所を分かれて、活動行う。 ・相談の時に、個別の対応が必要な児童がいる場合は、予め教員間で支援方法を確認しておく。 ・相談の場面で友達の意見を聞いていたり、相づちをうったりしている姿を即時評価する。 ・児童のよい聞き方に対して肯定的な声掛けをする。 <p>■話を聞く意識を高め、相手の話を最後まで聞いて行動することのよさを理解することができる。(観察)</p>
	6 本時を振り返り、学習したことを発表する。	
まとめ		

2024年 6月12日(水) 5校時
 児童 1年1名、2年1名、3年1名、5年1名
 場所 個別学習室
 指導者 松永 誠弘

1 単元名

いくつといくつ

2 指導計画(全8時間)

- ① 5～10の数を数え間違えずに分ける練習をする。(6時間)
- ② 5～10の数をブロックを使って分ける活動をする。(2時間)

3 本時の目標(評価も同様)

- ・カードやブロックを使い、数の組み合わせを理解することができる。
 (思考・判断)【発表・ワークシート】

4 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ■評価(評価方法)
導入	1、カードを使い、数かぞえをする。 2、くらべっこ遊びをして数の大きさの定着を図る	・出てくるものの数を1つずつ数えるのではなく、瞬発的に答えられるようにする。 ・ゲーム中不正や相手に不快な思いをさせないことを事前に確認し、もし行った場合はペナルティとして得点を減点する。
展開	いくつといくつで10になるかまとめよう 3. ブロックを使い10になる組み合わせの表を埋める。 10個のチーズを朝ごはん、夜ごはんの二回でネズミさんにあげよう。 4. クロームブックや個別のテキスト、プリントを使い個別学習を行う。	■ブロックを利用して合わせて10に組み合わせることができている。 ・他の児童の迷惑にならないように音量はボタン5回まで、学習に関係あるものに取り組むなどを約束する。
まとめ	5、本時のまとめをし、次時の予告をする	

2024年 6月12日(水) 5校時
 6組 4名(1年2名、3年1名、5年1名)
 場所 なかよし学級①②
 指導者 原 志保

1 単元名

あわせていくつ ふえるといくつ

2 指導計画(全7時間)

- ① 加法の意味について知り、式を立てて答えを出す。(2時間)
- ② 加法の計算演習をする。(2時間)
- ③ 0を含む加法の計算をする。(1時間)
- ④ 加法の問題を作る。(1時間)
- ⑤ 文章問題を解く。(1時間)

3 本時の目標

- ・絵カードを操作し、たし算の問題を作ることができる。
- ・問題を見て式を立て、答えを出すことができる。(思考・判断)【発表、ワークシート】

4 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ■評価(評価方法)
導入	1、ICT機器を使い、数かぞえをする。 2、手遊び「ごままんじゅう」で、2つの数の和が10になる数の定着を図る。	・出てくるものの数を1つずつ数えるのではなく、瞬発的に答えられるようにする。 ・和が10になる組み合わせの定着が十分でない児童のために、板書しておく。
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;"> たしざんのもんだいづくり！ともだちのもんだいもとう </div> 3、絵カードを使って、たし算の問題を作り、友達の問題を解く。(ペア学習) 4、できた問題を発表し、友達が発表した問題の式と答えをワークシートに書く。 5、個別の演習問題に取り組む。	・問題の作り方を絵カードと穴あきの問題を画用紙に書いたものを使って説明する。 ・問題を作ることが難しい児童のために、穴あきの問題を児童用にも作成して渡す。 ・数値が簡単すぎる児童用に数値が大きい問題も作れるようにしておく。 ・友達が作った問題の式と答えを口頭で答えさせる。 ■絵カードを操作し問題を作ったり、友達の問題を解くことができる。【発表、ワークシート】 ・児童によって、学習の定着具合が異なるため、それぞれの進度にあわせたプリントを配布する。
まとめ	5、本時のまとめをし、次時の予告をする。	

2024年 6月12日(水) 5校時
 6組なかよし(知的学級) 5名(4年1名、3年4名)
 場所 なかよし③④教室後方
 指導者 水谷 絵美子

1. 単元名 『いくつといくつ』(第二時)

2. 本時の目標

カードゲームを通して、いくつといくつで10になるか考える。

3. 学級における算数科の指導方針

このグループには、3年生4名と4年生1名が在籍している。数を進んで生活の中で使うことが少なく、数についての関心が低い児童が多い。また筆算の学習をしている児童についても、5や10の合成を理解し計算に利用していない実態がある。学習の積み重ねに困難さがあり、繰り返しの学習が求められる。そこで、体験的な活動やゲームを通して、生活のいろいろな場面で活用できる力を身につけられるよう指導していきたいと考えた。

- ① 歌や手遊び、捜査活動やゲームを通して数に親しんだり、数の意味を理解したりする。
- ② 高尾宿泊での買い物ができるよう、硬貨の種類を覚えたり、お金の計算をしたりする。
- ③ 見る力を育てるためビジョントレーニングを取り入れる。

4. 本時の展開(本時3/3)

学習活動 予想される児童の活動		☆グループの目標(メンバー) ○子ども ●個別の配慮		
導入	1 挨拶をする。 2 本時の学習内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 1 ビジョントレーニング 2 てあそび 3 ぴったんこカードゲーム </div> 3 ビジョントレーニングをする。 4 手遊びをする。 ・フラッシュ指文字 ・ごままんじゅう	☆1枚目のカードをめくったときに、もう1枚はどの数が出れば10になるか考える。(Y児・M児)	☆数カードのドットをヒントにして自分で合うカードを見つける。(O児・K児)	☆10になる組み合わせの書いてあるヒントカードを見て、10になる組み合わせか判断する。(K児)
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○学習の約束を確認する。 ●話を聞く時のルールを絵カードで示す。 ●ゲームに負けても「泣かない・怒らない」を約束してから始める。 </div> ○途中で口を挟まないで最後まで話を聞く。 ○みんなと一緒に楽しく参加しようとする。		
展開	5 ぴったんこカードゲームをする。 ・ゲームのめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> いくつといくつで10になるかかんがえよう </div> ・ルールの確認をする。(教師によるロールプレイ) ・2人(または3人)1組でゲームをする。	○二枚のうち、1枚目をめくった段階で、次にその数のカードをめくればあたりになるのかを考える。 ●わからなくなった時のヒントに磁石を6つ置いておくようにする。	○めくった2枚のカードのドットを指で一つ一つ押さえながら声に出して数を数える。ドットの数がいくつだったかを確認、対戦相手に報告する。 ●数え間違いがないよう、対戦相手も一緒に数えるようにする。	○ヒントカードや、カードの色を手がかりにめくった二枚のカードが6になるか判断する。 ●ヒントカードがなくても分かるようになってきたら、見ないでやるよう促す。 ●負けたり、分からなかったりした際、教室を飛び出す可能性がある。その際は、休憩カードを出し、担任と交渉してから休憩に行く約束を守らせる。
	6 振り返りをする。 ・振り返りシートに書いて、本時のまとめをする。 7 教師の話聞く。 8 終わりの挨拶をする。	○本時の学習で学んだことを振り返りシートに記入する。	○本時の学習で学んだことを振り返りシートに記入する。 ●教師に振り返りシートを読んでもらい、課題の意味を理解してから記入する。	○ヒントカードを見ながら、本時の学習で学んだことを振り返りシートに記入する。
まとめ				

算数科 学習指導略案

2024年 6月12日(水) 5校時
 なかよし学級 3年1名 4年1名 5年1名 6年3名 計6名
 場所 なかよし③④教室
 指導者 小川 大樹

1 単元名 「長さ調べをしよう」

2 指導計画

- ① 定規の使い方を学ぶ。
- ② 定規を使って大まかにcmを測る。
- ③ 定規のmmのめもりの測り方を知る。
- ④ 定規を使って指定されたものの長さ測る。

3 本時の目標

- ・定規を使って、指定されたものの長さを測ることができる。

4 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ■評価（評価方法）
導入	1 本時の流れを知る。	
	2 おいかけ算をする。(ビジュ ントレーニング)	・児童の状態に応じて複数回数字を見せるな ど、全員が取り組めるよう配慮する。
	3 前時の復習をする。	・定規の使い方やメモリの読み方を確認す る。
展開	4 めあての確認	
	いろいろなものの長さを調べよう	
	5 長さ調べをする。	■ワークシートに指定されたものの長さを、 定規を使って測ることができる。(ワークシ ート)
	6 調べたものの長さを発表す る。	・「○cm○mm」という長さの単位を意識さ せて発表させる。 ■正しい言い方で長さを発表することができ る(発言)
7 個別学習	・児童一人一人の実態に合わせた個別の課題 に取り組ませる。	

2024年 6月12日(水) 5校時
 なかよし学級 3年2名 6年4名 計6名
 場所 なかよし⑤⑥教室
 指導者 宮地 真緒

1 単元名 いろいろな計算をしよう。

2 指導計画 (全4時間)

1	四則計算
2	お話問題作り
3	みんなで考えた問題を解く
4	

3 本時の目標

- ・問題を読み、式に表すことができる。
- ・集中して個別の課題に取り組むことができる。

4 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ■評価 (評価方法)
導入	1、流れの確認 2、ビジョントレーニング	・見通しをもたせるために、学習の流れを確認する。 ・数字を目で追い、眼球運動を行う。
展開	3、練習問題 4、めあての確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> みんなで考えた問題を解いてみよう！ </div>	・「あわせて」「のこりは」など、キーワードを確認する。
	5、問題を解く 6、答え合わせ	・前時で児童が作成した問題に取り組む。 ■問題を読み、式に表すことができる。 【ワークシート・発言】
	7、個別学習	・一人一人の実態に応じた課題に取り組む。 ・スムーズに取り組むことができるように、教材をかごに入れておく。